

# JAL 愛媛原告を支える会



発行：JAL 不当解雇とたたかう愛媛原告を支える会  
 連絡先：愛媛自治労連会館3F 愛媛労連内  
 松山市三番町8-10-2 Tel. 089-945-4526

梅雨入りが遅れたが、田植えを終えた田圃から今年も長閑な蛙の大合唱が聞こえてくる。

昨年5月から暫く運動自粛を余儀なくされたが、その間行われた特別協議からは光が見えてこない。今年2月運動再開決定後お願いしたJALへの要請葉書は1万6000通を超え団体署名は約2200筆が堰を切ったように集まった。

今年の株主総会を一つの節目に運動しようと確認。5月、経験もアイデアも豊富な支援の力を借りて関東1都7県のキャラバン開始、延べ1000名が参加。30日、本社包囲行動は650名が参加し見事な運動再開となった。会社と言えば1年ぶりの本社前行動を警戒し多くの監視員を配置、ここでも解決の意志は感じられない。



## 真の解決めざして運動再開

6月11日、羽田空港を抱える大田区で35ある全ての駅頭宣伝を実施。私は解雇当時住んでいた



た池上線の6駅を担当。どこもビラが足りなくなる程の好反応。  
 (裏面に続く)



JAL 不当解雇撤回争議団  
 松山市在住 林 恵美

## 働く者の誇りをかけて

愛媛食健連会長

村田 武

私も  
 応援 します

JAL 不当解雇と闘う皆さんの頑張りに大いに励まされています。

いま、わが国の勤労者は、自公政権の労働規制緩和政策のもとで、非正規雇用の割合が4割近くに達し、所得が200万円以下の人数が1,086万人と、全体の4,945万人の21.9%を占めるまでになっています。昭和の高度成長期の「全部雇用」社会がつついた分厚い「中間層」が壊れ、平成の時代は、「中間層」が没落し、貧困と格差が拡大する社会になっています。

わが国はもはや「豊かな」国とは言えなくなっているのです。

いま日本が直面しているのは、経済衰退を食い止めるために、いかにして新しい産業と社会システムをつくりだすかにあります。脱原発・エネルギー転換をはじめとする新しい産業構造への転換と格差の是正を同時に達成しなければなりません。そのためには、社会基盤として透明で公正なルールが不可欠です。

JALの不当解雇撤回をめざす皆さんの闘いはその先頭に立つものです。

から  
日航機御巢鷹山事故 34年

# 8.11 松山空港前宣伝 8:30~9:30

## 争議の早期解決と 空の安全を訴えます

8月11日 8時30分までに  
松山空港前にお集まり下さい。

山口宏弥争議団長も参加予定です。



夜は区民プラザでうたごえコンサート。会場一杯の120名超の方が集い、上條貞夫弁護団長が飛び入りで私達と共に歌って下さるなど、昼間の疲れを吹き飛ばす盛り上がりとなった。

18日よいよ株主総会。会場前では100名近い支援の方がキャラバンの写真集を配布。総会でその写真集を掲げ解雇の解決を訴える株主も現れ効果的だった。新社長は「何とかして解決したいとずっと考えている」と答弁。5回目の出席となる私は、今年こそと社長の正面に座り手を上げ続け「女性も発言させて!」と叫んだ(つもり)。瞬間社長と視線が合ったがすぐ逸らされた。他の原告も指名される事はなかった。明らかに原

告を避けていた。会社に誠実さを求めるのは元々無理なのだろう。

内部留保1兆円を超え史上最高の利益を上げ続けても職場へ還元されるのはごくわずか。現場は心身ともに疲弊しきつていく。崩れつつある安全の基盤を修復するためには解雇問題の解決が必要不可欠だ。さあ、統一要求に正面から答えさせるための運動を考えよう!



赤坂祐二日航社長 @トラベルWatch